

1 研究の概要

(1) 研究主題

新学習指導要領の趣旨を踏まえた中学校数学科の授業の質的改善

(2) 研究の目標

新学習指導要領の趣旨を踏まえて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた中学校数学科の授業の質的改善を図るまでの道筋を明らかにし、授業を見直し質的改善につなげるための方法を提案する。

(3) 研究方法

- ア 中学校数学科で身に付けさせたい資質・能力や見方・考え方に関する理論研究及び実態調査
- イ 理論研究及び実態調査を踏まえた授業改善の視点と手立ての策定
- ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の実践
- エ 授業実践を通じた生徒の変容の分析・考察
- オ 授業改善の視点と手立ての有効性の検証

(4) 研究内容

- ア 中学校数学科で身に付けさせたい資質・能力や見方・考え方に関する理論研究を行い、生徒の実態を調査します。
- イ 理論研究と生徒の実態を基に、従来の授業について、「主体的・対話的で深い学び」の視点から見直し、生徒の実態に応じた改善の手立てを探ります。
- ウ 従来の授業について、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、授業展開案、ワークシート、教材等を作成し、研究委員の所属校で検証授業を行います。
- エ 検証授業及び単元全体を通じた生徒の変容を分析・考察し、改善の視点や手立ての効果を検証します。
- オ 授業改善の視点と手立てを一般化し、汎用性のあるものにして、質的改善を図るための方法を明らかにします。

(5) 1年次の成果と課題

ア 成果

- (ア) 日々の授業を見直していく際の具体的な留意点をまとめ、それらを基に「授業チェック表」を作成しました。また、授業改善を実施するに当たっての手立てについて検討し、「手立て一覧表」を作成することができました。
- (イ) 研究委員の先生方の日々の実践を中心とした考察と文献研究を基に、三つの資質・能力について明らかにすることができました。

イ 課題

- (ア) 「授業チェック表」と「手立て一覧表」については、今後も実践を反映し、若手教員から経験豊富な教員まで活用することができる汎用性のある内容にしていく必要があると考えます。
- (イ) 「数学的に考える資質・能力」が、数学的活動を通して育成する必要があることから、数学的活動を一層充実していく質的改善をどのように進めるかについて研究を進めていく必要がある

と考えます。